

2012年7月3日

## デルタ航空、2012年8月より日本発着便の燃油サーチャージを変更

【東京、2012年7月3日】－デルタ航空(NYSE:DAL)は、国土交通省の認可を受け、2012年8月1日発券分より、日本発着の燃油サーチャージの金額を変更すると発表しました。

詳細は下記のとおりです。

### デルタ航空日本発券分燃油サーチャージ

1 旅客 1 区間片道当たり燃油サーチャージ額 (単位:円)				
対象路線	2012年7月31日発券分まで (2012年5月8日付国土交通省認可)		2012年8月1日発券分より (2012年6月28日付国土交通省認可)	
	ビジネスクラス	エコノミークラス	ビジネスクラス	エコノミークラス
日本－北米	29,000	27,000	25,000	23,500
日本－ハワイ	16,500		15,000	
日本－タイ・シンガポール	13,000		11,500	
日本－マイクロネシア (グアム・サイパン・パラオ)・ フィリピン	8,000		7,000	
日本－中国・台湾・香港	6,500		6,000	
日本－韓国	2,500		2,200	

\*2ヶ月毎に航空燃油(シンガポールケロシン)価格を確認し、予め設定された条件額を下回った場合、もしくは上回った場合、翌々月1日からの変更を関係国政府に認可申請します。

上記サーチャージ額は2012年9月30日発券分までの固定額です

\*日本－中南米については、別途に燃油サーチャージを設けています。2012年7月31日発券分まではビジネスクラスは片道30,000円、エコノミークラスは片道28,000円、2012年8月1日発券分からはビジネスクラスは片道26,000円、エコノミークラスは片道24,500円となります。同路線の燃油サーチャージは、上記改定条件に準じません。

\*本サーチャージには割引の適用はございません。大人・小児・幼児ともに同額のご負担をお願いしています。ただし、座席を使用しない2歳未満の幼児は本サーチャージの対象外となっております。

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。昨年はトラベルウィークリー誌の読者により「米国内ベストエアライン(domestic "Airline of the Year")」に、PCWorld誌の「最もテクノロジーの進んだ(Tech-Friendly)米国航空会社」に選出されたほか、ビジネストラベルニュース誌のエアラインサーベイでも賞を受賞しました。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界65カ国、350近くの都市に向けてフライトを運航しています。世界で8万人以上の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万3,000便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に50箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は2013年にかけて総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ [delta.com](http://delta.com) をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部

e-mail: [corpcommjapan@delta.com](mailto:corpcommjapan@delta.com)

日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>